

熊本県立熊本高等学校校則

初代野田校長により明治42年に制定された「士君子」たるの修養を目標とする「校訓」、明治44年の「生徒必携」に参照される〈生徒心得〉に見られるとおり、創立以来、本校が伝統的に目指してきた人格形成は、普遍的な理念として現代にも脈々と通じるものであり、生徒諸君には「士君子」たるに相応しい振る舞いと理想とする人物像の追求を期待する。

【校則】

士君子としての自覚と誇りをもつ。

志高く、学業に専念する。

誠実に、礼節・秩序を重んじる。

※この校則の運用については、別途諸規定で定める。

令和4年2月18日 制定

【参考】

校 訓

凡ソ本校ノ生徒タル者ハ、誠實心ヲ秉リ禮敬身ヲ持シ
善ヲ爲スニ勇ニ、過ヲ改ムルニ敏ニ、己ニ克チ慾ヲ制シ、
身體ヲ鍊磨シ、艱苦ニ耐忍シ、專ラ修學ニ勤メ
敢テ小成ニ安ニスルコトナク、日夜淬礪シテ
士君子タルノ修養ヲ完ウシ、國家ノ忠良タルコトヲ期スヘシ。
此志ヲ堅持シテ移ラサル之ヲ立志ト謂ヒ、
此志ヲ實行シテ倦マサル之ヲ篤行ト謂フ。
諸子其レ立志篤行以テ本校教育ノ主旨ニ副ヘヨ

<生徒心得> 明治44年「生徒必携」より抜粋

- ・努めて欠席、欠課、遅刻をなさざること
- ・授業の際は熱心にこれを傾聴し其の意義を会得すること
- ・課業又は自習の際は常に自ら熱心なる研究心を奮起して、其の意義を發明せんことを努むること
- ・復習・予習を怠らざること
- ・宿題の答案は必ず期日を誤らざるよう提出すること
- ・早起きに努め常に時間を惜しんで勉強すること
- ・規律正しく自習すること